

高津正
著

居るのびありまう是等の全国の研究会の牛耳
をとりまして全国的統制の地位にありまう
のは青森共産主義者の題目でありまう高津正
道びありまう彼も堺、山川の先輩と同様執心
する日露論高津正はありまうが日露近岡山の高
津正はありまう一ソビエトの會本から
近來日本の共産黨は振はありと云ふ非難があ
る故に一度全国的宣傳運動を企てては如何に
と云ふ意味の書状が高津の許へ來ましたので
ありまう高津は今日論日露問題に多手筆の云

10.22.20

2

來る曙光が見へて來ました現在に於て宣傳軍
動をとおすのは不得策であると極力主張して片
ますが同主義者の水戸沢や川崎は宣傳運動に
誘成して居るのびありまう高津は皆有力な
る前線軍びありまうから無論高津の主張が受
けずともとの見るべきはありまうけりも水
戸沢や川崎の派も多数ありまうから今後はこ
のまゝびすみますとしても今後若しも片山澄
が帰國したります場合は水戸、川崎派は幹
部の統制に妨げせず其旨の宣傳運動を